

都市再生整備計画 事後評価シート
品野地区

平成27年3月

愛知県瀬戸市



様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	瀬戸市		地区名	品野地区		面積	994ha				
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	413百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	公園(後田公園、向山公園、天白公園)、高質空間形成施設(岩屋堂公園)、高次都市施設(品野台地域交流センター、品野観光交流センター)										
			提案事業	耐震改修(品野東保育園)、安心・安全事業、岩屋堂公園再整備事業、観光交流センター附帯事業、岩屋堂公園再整備事業計画策定、事業効果分析調査										
	当初計画から削除した事業		基幹事業	—		—		—		—				
			提案事業	耐震改修(品野東保育園)、事業効果分析調査		関連事業に移行するため削除(品野東保育園を休園する方針が決まり、耐震改修の時期も未定となったため)		事業として削除するものの、関連事業に移行されたため、目標等への影響はない。						
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(情報板)		品野台地域観光交流センターに関連する事業の効果を高めるために情報板整備を追加。		指標3に関連するが、目標値は据え置く。						
			提案事業	観光交流センター利用促進事業		観光交流センターの利用を促進するため、岩屋堂公園や窯元等と観光交流センターを結びシャトルバス運行を追加するもの。		指標3に関連するが、目標値は据え置く。						
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
		変更	平成22年度～平成26年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み					
	指標1	災害の不安がないと思う人の割合	%	24.6	H21	53.8	H26	16.6	×			あり なし	●	—
	指標2	自治会等の地域活動が盛んであると思う市民の割合	%	30.8	H21	54.5	H26	17.0	×			あり なし	●	—
指標3	地区内観光施設への来訪者数	万人	57	H20	67	H26	121	○	あり なし	●	—			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み					
	その他の数値指標1	地域力向上事業における地域活動数	種類	0	H21	/	/	12	/			/	●	平成27年6月
その他の数値指標2	自主防災リーダーの登録者数	人	33	H21	/	/	46	/	/	●	—			
4)定性的な効果発現状況	・地域活動の場が整備されたことにより、住民相互の交流の活発化や、地域住民が主体的に活動する意識の醸成につながっている。 ・品野観光交流センターの整備により、来訪者が集まりやすい環境・地域にとどまりやすい環境が整備された。また、そのことにより、地域の観光等に関する情報を発信・受信しやすい場が創出され、情報発信力の強化にもつながっている。													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	「品野台地域力向上アクションプラン」に基づく活動				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後も地域住民主体の様々な活動を推進するため、活動費用の一部助成や活動機会、活動の場の提供により支援を行う。			
	持続的なまちづくり体制の構築	品野台地域力向上委員会の組織化				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後も地域住民主体の様々な活動を推進するため、活動費用の一部助成や活動機会、活動の場の提供により支援を行う。 他地区の組織との情報共有や活動の連携により、地域活動の幅を広げる。			
	岩屋堂観光まちづくり研究会の組織化				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後も地域住民主体の活動を推進するため、情報交換や活動における支援等を行う。				


様式2-2 地区の概要

品野地区(愛知県瀬戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標:安心・安全で、魅力に満ちた賑わいと活力あるまちづくり 目標1:地域力の向上による安心・安全なまちづくり 目標2:地域資源を活用したおもてなしのまちづくり		災害の不安がないと思う人の割合	単位: %	24.6 H21	53.8 H26	16.6 H26
		自治会等の地域活動が盛んであると思う市民の割合	単位: %	30.8 H21	54.5 H26	17.0 H26
		地区内観光施設への来訪者数	単位: 万人	57 H20	67 H26	121 H26

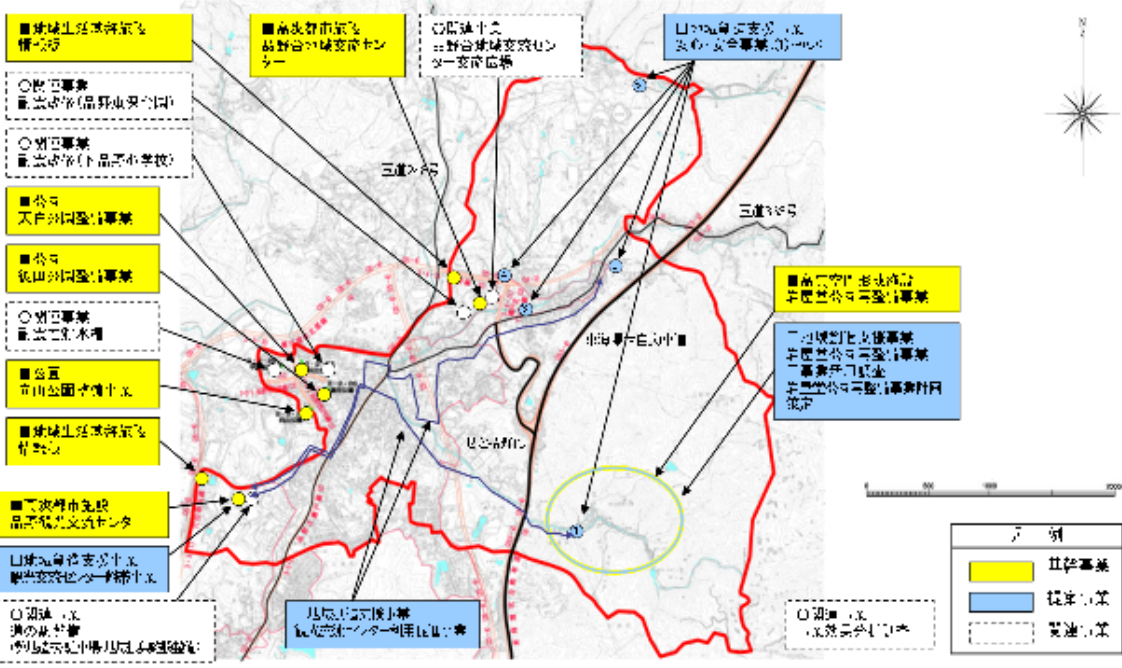
情報板


天白公園整備事業




品野観光交流センター



品野地区(愛知県瀬戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要



品野台地域交流センター



岩屋堂公園再整備事業

まちの課題の変化

【課題の改善状況】

- ・市民自らのまちづくりに対する機運が高まってきている中で、安全で安心して暮らすことができる基盤整備が課題となっていたが、公共施設の耐震化や避難場所の整備等によって地域防災のハード面での基盤が強化された。
- ・また、品野台地域交流センターが整備され、市民活動の場が充実したことにより市民活動の実施数が増加しており、今後ソフト面での基盤強化が段階的に図られていくことが期待される。
- ・地域内観光施設における来訪者数の落ち込みが課題であったが、岩屋堂公園の再整備や道の駅及び観光交流センター整備等によって新たな地域の魅力が創出され、地域への来訪者数が増加した。

【残された未解決の課題】

- ・計画期間内に大規模な地震災害や土砂災害等が全国的に発生したことによって、災害への不安は高まっており、アンケートにおいて「災害の不安がない」と回答する割合が目標値まで達しなかった。引き続き地域の主体的な活動によって防災対策に取り組み、災害に対する意識を高める必要がある。
- ・地域の主体的な活動が活発化しているものの、地理的条件などの要因により、参加は一部の市民に限られている段階にあるため、様々な人が参加しやすいような環境整備が必要となる。
- ・地域全体で増加した来訪者を地域内の各観光施設にまで波及させるため、新たに整備された品野観光交流センターを核としながら、観光施設間の回遊性をさらに高めていくことが必要となる。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 地域コミュニティの向上
 - ・整備された各施設の適切な維持管理により、地域の活動を支える基盤を保っていく。
 - ・地域と行政の役割分担・連携を強化しながらまちづくりを推進し、地域での課題の発見、地域の主体的な活動及び解決への動きの活発化を図る。また、情報発信により、地域活動の波及に努める。
- 地域活動参加者数のさらなる増加
 - ・品野地域において現在取り組まれている活動状況、市内他地域における活動状況に関する情報の発信等により、地域活動の波及に努める。
 - ・遠隔地の集落に居住する住民など、様々な人が参加しやすい環境整備により、地域活動の波及に努める。
- 観光施設間の回遊性のさらなる向上
 - ・品野観光交流センターを核としながら、ハード・ソフトの両面から地域内の各観光施設間の回遊性を高める方策を検討する。
- 通年での観光の魅力づくり
 - ・各観光施設における新たな魅力づくり、観光施設間の連携による新たな魅力づくりなど、地域において通年で人を呼び込める方策を検討する。
- 観光施設アクセス道路における渋滞解消
 - ・もう一つの課題である回遊性の向上にも寄与するシャトルバスの運行等の方策により、ピーク時などに発生する渋滞の解消を図る。